



まずはこれから！



感染拡大の防止 に向けた

9つのルール

新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域住民、ボランティア、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、社会福祉法人・福祉施設等と、これまで取り組んでいた地域福祉活動の多くが、休止を余儀なくされました。また、感染対策を講じて再開しているところでは、活動方法の変更など、迷いや不安を抱えながら手探りで活動を進めています。

こんな時だからこそ、誰かとつながり、互いを気にかけて、支えあいたい。地域の皆さん一人ひとりの温かい心の輪が広がるよう、感染防止を第一に考え、本ヒント集を作成しました。

「今できること」を少しずつ進めていくための参考になれば幸いです。

はじめに 活動の意味や役割をみんなで確認しよう

● 話し合い

やむを得ず休止となった期間、活動者同士も会う機会が持てなかったのではないのでしょうか。

今一度、「自分たちはどういう目的で活動を行っていたのか?」、「大切にしていたことは何?」など、活動の原点を振り返りましょう。

● 新たな工夫も必要

お互いに安心安全に活動するために、みんなで一緒に知恵を絞りましょう。今までと同じ活動をすることが困難かもしれません。

その場合は、活動の形を変えて、つながりを途切れさせない工夫を考えてみましょう。

新型コロナウイルス感染症 予防チェックポイント



チェックポイントと合わせて、地域の流行状況を確認しましょう
(神奈川県モニタリング指標・ステージにより、イベント等の方針が示されています)



感染の予防

1 活動前の健康チェック

- 全員で体温、体調を確認し、記録を残しましょう
- 自宅で検温し、発熱（37.5℃以上もしくは平熱より1℃以上高い）や風邪の症状（喉や倦怠感等）がある場合は、参加を控えましょう



3 マスクの着用

- 原則として活動中は全員、正しくマスクを着用しましょう
- 運動は熱中症・脱水症に注意し、こまめな水分補給や室温調整を行きましょう
- 野外で十分な距離（2m以上）が確保でき、熱中症のおそれがある場合はマスクを外すなど、身体的に配慮しましょう
※マスクを着脱する際は紐に指をかけ、着用中は布部分を触らないようにご注意ください
※鼻水・唾液などが付いたマスクを捨てる時は、ビニール袋で密閉してください



5 参加者名簿を作成しましょう

- 感染発生の際に追跡ができるよう、当日の参加者全員の連絡先（電話・住所・氏名・メール等）を収集し、適切に管理をしましょう



2 手洗い・手指の消毒

- 活動前や活動中、帰宅後など、こまめにハンドソープで手洗いをしましょう
※手や指に付着しているウイルスの数は、ハンドソープで10秒もみ洗いし、流水で15秒すすぐと1万分の1に減らせます
※タオルは共用しないようにご注意ください
- 手が洗えないときはアルコール等での手指消毒を徹底しましょう
- 消毒液、ハンドソープ、ペーパータオルなどの衛生資材をできるだけ会場内に設置しましょう（その他、体温計、マスク、手袋、ゴミ袋等）



4 会場の備品や設備を消毒しましょう

- 複数の人が触れる場所や物は、定期的に消毒をしましょう（テーブル、いすの背もたれ、ドアノブ、電源スイッチ、蛇口等）



6 使い捨て資材の活用

- 食器、コップ、箸、タオルなどは共用しないようにしましょう
※使用する場合は、適切に洗浄・消毒しましょう
- 会食などは個別に配膳しましょう
- 茶菓子は個包装されたものを提供しましょう



現在、飲食を伴うイベントはリスクを伴うため、自粛の方向です。
企画・参加の際は十分にご検討のうえ、再開時の参考にしてください。



3密（密閉・密集・密接）の回避



7 密閉対策

- 換気の悪い場所は、極力使わないようにしましょう
- 最低 30 分に 1 回、2 方向の窓を全開にするなど換気を行いましょう（5分程度）
- 窓が 1 つしかない場合は、入口のドアを開け、扇風機や換気扇などを使用して、できる限り換気に努めましょう
- 窓がない施設では、換気設備による外気取り入れなどに心がけましょう



8 密集対策

- 人と人との間隔は、できれば 2 m（最低 1 m）を空けましょう
- 参加人数は会場の定員 50%以下を目安としましょう
（参考：神奈川県「イベント開催に関する感染拡大防止の取組について」）
- 座席の配置は、対面ではなく、互い違いや横並びに座るなど工夫をしましょう
- 換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けましょう（更衣室、給湯室、喫煙所等）
※不特定多数が接触するおそれが高い場所

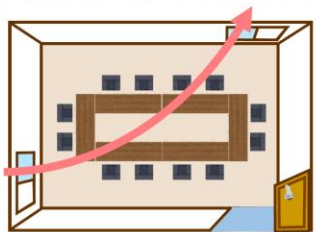
9 密接対策

- 飛沫感染防止のため、歌ったり、大声を出したり、多人数での会食はなるべく避けましょう
- 1 回あたりの参加人数を少なくしたり、実施時間を短くしたり、回数を増やすなど、工夫をしましょう

※人数が増えるほどリスクが高まります。できるだけ、家族か、4人までにしてください。
（参考：内閣官房「感染の再拡大防止特設サイト」）

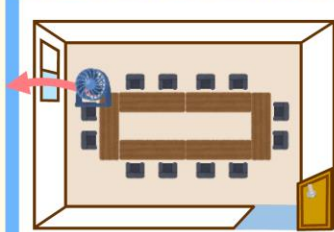


窓 2 カ所



ドアを開け、窓 2 カ所を対角線上に開ける

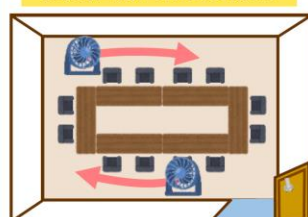
窓 1 カ所



ドアを開け、窓のそばに扇風機を置いて風の流れるをつくる

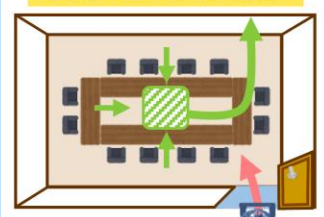
窓がない場合

換気口が室外の場合



部屋の外に空気を出すようにドアを開け、扇風機を置く

換気口が室内の場合



ドアを開け、扇風機で部屋の中に風を送り込むようにする

参考 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症への対応について



https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/yobou/index_00013.html

※その他、川崎市社会福祉協議会の HP にも随時情報を掲載していきます。



活動時のレイアウト図

身体的距離を確保した座席イメージ

参考

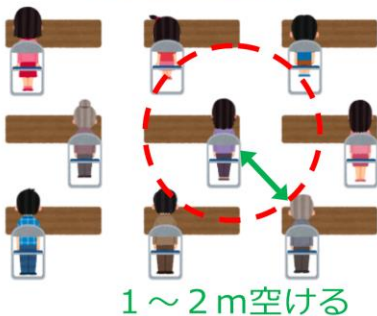


メモ

人と人の間隔を空けることが難しい場合は、遮蔽ビニール等で飛沫の飛散を防止しましょう

教室形式

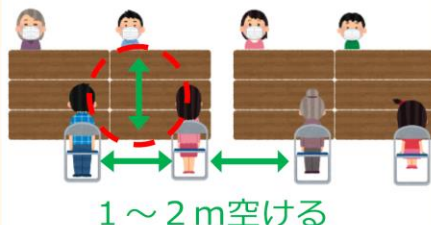
● 研修 ● 講演会 ● 体操など



- 互い違いに座る
- 同じ方向を向く

島型形式

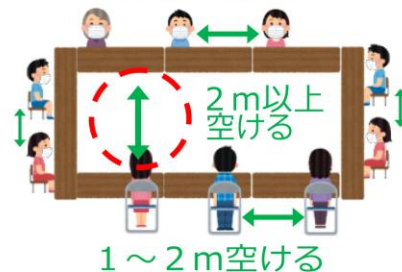
● 作業 ● グループ活動など



- 互い違いに座る
- 前後左右の間隔を空ける

口の字型形式

● 会議 ● 打合せなど



- 互い違いに座る
- 対面になる場合はできるだけ距離をとりましょう(2m以上)

地域福祉活動に関する相談窓口

これからも皆さんの地域福祉活動に寄り添い、「今できること」を一緒に考えていきます。活動のお悩みや困りごとなど、お住まいの区の社会福祉協議会にご相談ください。



川崎区社会福祉協議会 ☎ 044-246-5500

幸区社会福祉協議会 ☎ 044-556-5500

中原区社会福祉協議会 ☎ 044-722-5500

高津区社会福祉協議会 ☎ 044-812-5500

宮前区社会福祉協議会 ☎ 044-856-5500

多摩区社会福祉協議会 ☎ 044-935-5500

麻生区社会福祉協議会 ☎ 044-952-5500



社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 ボランティア活動振興センター

☎ 044-739-8718 (8:30~17:00 月~金) ✉ v-center@csw-kawasaki.or.jp

本紙内容の、アニメーション動画も配信中!

<https://www.youtube.com/watch?v=u6B59aoQ8a4>

川崎市社会福祉協議会
地域福祉情報バンクふくみみ
YouTubeチャンネル



川崎市社協
キャラクター
ななふく



このヒント集は令和3年3月時点での情報に基づき作成しています。今後内容を追加・修正し、更新することがありますのでご了承ください。また、本紙発行にあたりご協力いただいた関係機関の皆様、誠にありがとうございました。